

2026 年 6 月 27 日（土）、岩手県盛岡市で開催された第 154 回日本医学放射線学会北日本地方会に参加し、口頭発表を行いました。

北日本地方会は、北海道・東北地区の放射線科医が集まり、日頃の診療や研究成果について発表・議論を行う学術集会です。近隣施設の先生方と直接意見交換ができる貴重な機会であり、今回も多くの興味深い発表や活発な討論が行われました。

今回の発表では、当院で昨年より導入しているトモセラピー装置である Radixact を用いた全身照射(TBI)について、体表面画像誘導システム Catalyst を併用した初期経験を報告しました。Catalyst を活用することで、セットアップの効率化や長時間の治療に伴う患者負担の軽減を図った取り組みについて紹介し、会場からは運用方法や今後の課題について多くのご質問やご意見をいただきました。他施設の先生方との議論を通じて、多くの学びを得ることができました。

また、本演題は優秀演題賞を受賞いたしました。ご指導いただいた先生方をはじめ、放射線治療部門のスタッフの皆様心より感謝申し上げます。今回の経験を励みとして、今後も臨床・研究の両面でより一層研鑽を積んでまいりたいと思います。

